

20151116 蔵前ゼミ (通算 第 53 回)



講師の池田さん



会場風景 (すずかけ台, J221 講義室)



質問に耳を傾ける池田さん



交流会の様子 (すずかけホール 3F ラウンジ)



交流会の様子



交流会の様子

錦織さんの中締め挨拶:「来年度(2016)から大学院の講義がすべて英語になるのは大いに結構。日本人の英語力をどんどん高めて下さい。しかし、留学生には日本語をしっかり教えて欲しいものです。(1)日本語ができることは彼等/彼女等にとっては大きな財産になるのみならず、(2)日本の文化や伝統や国民性は日本語を通してのみ真に理解できるからです。日本語が分かるということは日本が分るということで、そのような留学生が母国に帰り、将来指導的な立場にたてば、日本にとってこんなに心強いことはないからです。..... 外国に出たら英語と思いがちですが、現地の言葉が大切です。私は旭硝子のタイ工場に赴任していた時、一生懸命にタイ語を勉強して、片言でもいいからと、タイ語で現地の従業員とコミュニケーションを取るように心がけたところ、彼らは『錦織の言うことならば...』と、何でも第一優先でやってくれました。日本人、しかも幹部が、タイ語で話そうと努力している姿に感激したからです。皆さん、現地の人の立場で考えれば、気持ちわかりますよね」。このことは三島学長や教育担当の丸山理事副学長にも、留学生教育の根幹として、よく考えて欲しいようだ。